

## ご案内とお願い

### 1. 受付と参加費について

- 1) 受付時間は、8時30分から、2F ロビーにて受付を行います。
- 2) 学術集会参加費は以下の通りです。

医師 日本夜尿症学会員	5,000 円
医師 日本夜尿症学会非学会員	6,000 円
医師以外	3,000 円
学生・研修医	無料（証明書をご持参下さい）
- 3) 年会費および新入会も同時に受け付けます。  
(発表者及び共同演者は会員に限ります)
- 4) 参加者証に氏名・所属を記入して下さい。
- 5) 本会出席者は日本小児科学会専門医制度単位4単位を取得できます。

### 2. 懇親会について

6月21日(土) 18時00分から 2F 高千穂 B で行います。  
参加費は無料ですので、奮ってご参加ください。

### 3. 発表される方へ

- 1) 発表の30分前までにスライド受付を行って下さい。
- 2) 一般講演の発表時間は1演題あたり12分(講演7分、討論5分)です。
- 3) 発表の15分前までには会場の次演者席にお着き下さい。
- 4) PCプロジェクターは1台(1面映写)です。
- 5) 発表はPC(OS:Windows)発表のみとし、35mmスライド、Macintoshは使用できません。
- 6) 発表データはPowerPoint 2003以降で作成いただき、文字はPowerPoint備え付けのフォントのみ使用して下さい。
- 7) 発表データのファイル名は【演題番号 氏名】として下さい。
- 8) PCの持ち込みはできません。但し、動画をご使用の方は、ご自身のPC本体をお持ち込み下さい。お持込みの場合には、事前に事務局にご連絡下さい。
- 9) PCプレゼンテーションは、演台にセットされているモニター、キーボードおよびマウスを使用して演者ご自身で操作願います。

### 4. 座長の先生方へ

座長の先生方は、担当セッションの始まる15分前までに次座長席にお着き下さい。

### 5. 問い合わせ先

第25回日本夜尿症学会事務局  
TEL: 03-5689-0082 FAX: 03-5689-0082  
E-mail: 25th.jsen@gmail.com

## 日 程 表

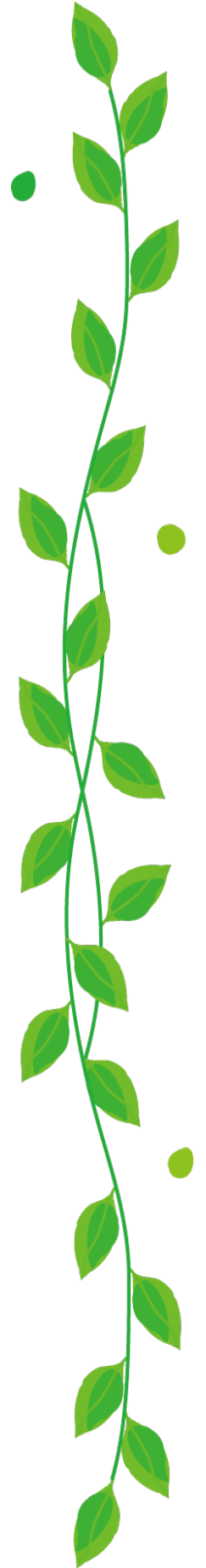
日時：2014年6月21日（土）

会場：ホテル東京ガーデンパレス

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-7-5 TEL:03-3813-6211

時 間	内 容		座長名	会 場
8:15 ~ 9:00	理事会			3F 平安 A
9:00 ~	開会の辞		大友 義之	2F 高千穂 A
9:05 ~ 10:05	一般演題①	①- 1 ~ 5	西崎 直人	2F 高千穂 A
10:05 ~ 10:55	一般演題②	②- 6 ~ 9	川合 志奈	2F 高千穂 A
11:00 ~ 11:50	一般演題③	③- 10 ~ 13	羽田 敦子	2F 高千穂 A
12:00 ~ 13:00	ランチョンセミナー「小児の過活動膀胱」 柿崎 秀宏		河内 明宏	2F 高千穂 A
13:10 ~ 13:40	総会			2F 高千穂 A
13:40 ~ 14:40	会長要望演題	帆足 英一、吉田 茂	大友 義之	2F 高千穂 A
14:40 ~ 15:40	アフタヌーンセミナー 「エキスパートが伝授するアラーム療法のテクニック」 武輪 鈴子、上杉 達也		藤永周一郎	2F 高千穂 A
16:00 ~ 17:45	イブニングセミナー 「グローバルスタンダードを意識した夜尿症診療」 金子 一成、Soren Rittig、Johan Vande Walle		金子 一成	2F 高千穂 A
17:45 ~	閉会の辞		大友 義之	2F 高千穂 A
18:00 ~	懇親会			2F 高千穂 B

# プログラム



# 第 25 回日本夜尿症学会学術集会

## プログラム

2014 年 6 月 21 日 (土)  
ホテル東京ガーデンパレス

**8 : 15 ~ 9 : 00**    **理事会**

**9 : 00 ~**            **開会の辞**

第 25 回日本夜尿症学会会長 大友 義之

**9 : 05 ~ 10 : 05**    **一般演題①**

座長：西崎 直人（順天堂大学医学部附属浦安病院小児科）

①-1 夜尿症にて治療中、頭部 MRI にて脳腫瘍を認めた 1 例

長井 恵、杉本 圭相、岡田 満、竹村 司  
近畿大学医学部小児科

①-2 漢方薬治療が有効であった成人夜尿症の 1 例

上仁数義、小林憲市、河内明宏  
滋賀医科大学泌尿器科

①-3 夜尿症患者の臨床的検討

杉本周路<sup>1)</sup> 高田将吾<sup>1)</sup> 山中弥太郎<sup>1)</sup> 森田恒太郎<sup>1)</sup> 池田太郎<sup>1)</sup> 朴英智<sup>1)</sup>  
秦怜志<sup>1)</sup> 濱野公成<sup>2)</sup>

1) 川越三井病院 泌尿器科 2) 弁財泌尿器科内科クリニック

①-4 夜尿症患者における夜間尿量計測の適正日数

白柳 慶之、金 宇鎮、藤森 大志、山崎雄一郎  
神奈川県立こども医療センター 泌尿器科

①-5 教育現場における夜尿症の認識

服部益治<sup>1)</sup>、柴野貴之<sup>1)</sup>、下村英毅<sup>1)</sup>、西村実果<sup>2)</sup>、前川講平<sup>3)</sup>

1)兵庫医科大学小児科、2)宝塚市立病院小児科、3)ささやま医療センター小児科

**10 : 05 ~ 10 : 55 一般演題②**

座長：川合 志奈（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児泌尿器科）

- ②-6 昼間尿失禁に対してソリフェナシンが投与された患児における夜尿改善効果の検討  
池田裕一、渡邊常樹、磯山恵一  
昭和大学藤が丘病院小児科
- ②-7 夜尿児に対する過活動膀胱症状質問票の検討  
津ヶ谷正行、大野和美、小松 茂、宇佐美雅之、伊藤尊一郎、遠藤純央、白谷裕巳  
大野泌尿器科、名古屋市立西部医療センター、豊川市民病院泌尿器科
- ②-8 単一症候性夜尿症における尿流測定による下部尿路機能スクリーニング  
山下純英 羽田敦子 阿部純也 熊倉啓 吉岡孝和 水本洋 塩田光隆 渡辺健  
秦大資  
田附興風会医学研究所 北野病院 小児科
- ②-9 夜間覚醒排尿により夜尿が消失した小児の成人期以後の夜間頻尿の実態  
赤司 俊二<sup>1)</sup> 富田 和江<sup>2)</sup>  
1)新都心こどもクリニック 2)慈恵医大葛飾医療センター 小児科

**11 : 00 ~ 11 : 50 一般演題③**

座長：羽田 敦子（田附興風会医学研究所北野病院小児科）

- ③-10 椎弓癒合不全を認める薬剤不応性の夜尿症に対するアラーム治療の有効性について  
望月貴博  
大阪警察病院 小児科・消化器内視鏡センター
- ③-11 毎晩2回以上の夜尿症例に対するDDAVP、アラーム療法の長期成績  
内藤泰行<sup>1)</sup>、山田恭弘<sup>1)</sup>、藤原敦子<sup>1)</sup>、三木恒治<sup>1)</sup>、小林憲市<sup>2)</sup>、上仁数義<sup>2)</sup>、  
河内明宏<sup>2)</sup>  
1)京都府立医科大学大学院医学研究科 泌尿器外科学  
2)滋賀医科大学 泌尿器科学講座
- ③-12 夜尿症に対するコードレスアラームの治療成績  
福井真二<sup>1)</sup>、青木勝也<sup>2)</sup>、三馬省二<sup>1)</sup>、藤本清秀<sup>2)</sup>  
1)奈良県総合医療センター泌尿器科、2)奈良県立医科大学泌尿器科

- ③-13 当科における夜尿アラームの治療内容と成績  
日向泰樹、中村 繁、川合志奈、中井秀郎  
自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児泌尿器科

**12 : 00 ~ 13 : 00 ランチョンセミナー**

【共催：旭化成ファーマ株式会社・久光製薬株式会社】  
座長：河内 明宏（滋賀医科大学泌尿器科）

過活動膀胱の病態と治療における最近の知見

柿崎 秀宏（旭川医科大学腎泌尿器外科学講座）

**13 : 10 ~ 13 : 40 総会**

**13 : 40 ~ 14 : 40 会長要望演題**

座長：大友 義之（順天堂大学医学部附属練馬病院小児科）

夜尿症児へのネグレクト等の実態と養育上の配慮

帆足 英一（世田谷子どもクリニック）

夜尿症診療における IT の利活用

吉田 茂（医療法人葵鐘会）

**14 : 40 ~ 15 : 40 アフタヌーンセミナー**

【共催：株式会社アワジテック】

座長：藤永 周一郎（埼玉県立小児医療センター腎臓科）

小児の夜尿症に対するアラーム療法：その利点と欠点

武輪 鈴子（関西医科大学小児科学講座）

アラーム療法で起こす必要があるのか？

上杉 達也（岡山市立市民病院泌尿器科）

**16 : 00 ~ 17 : 45**    **イブニングセミナー**

【共催：フェリング ファーマ株式会社・協和発酵キリン株式会社】

座長：金子 一成（関西医科大学小児科学講座）

Therapeutic strategy for monosymptomatic nocturnal enuresis in children: Changing concept in Japan

金子 一成（関西医科大学小児科学講座）

Pathogenesis of nocturnal enuresis

Soren Rittig（Aarhus University Hospital, Denmark）

Treatment aspects of nocturnal enuresis – focus on the difficult patient

Johan Vande Walle（Ghent University Hospital, Belgium）

**17 : 45 ~**                    **閉会の辞**

**18 : 00 ~**                    **懇親会**